

総合環境政策局環境経済課環境教育推進室

1. 事業の概要

持続可能な社会を実現するためには、国民一人ひとりが環境への関心と理解を深め、ライフスタイルや社会経済活動を環境負荷の少ないものに転換していく必要があり、その基礎となる環境教育の推進が不可欠である。

本事業は、温暖化対策や生物多様性確保等の喫緊の課題を社会全体で解決するため、国民が生涯を通じ生活する様々な場面で、継続的に環境に配慮した行動がとれるよう、子どもからシルバー世代まで一貫した環境教育を支援する。

2. 事業計画

環境への原体験を育むことを目的に実施している「こどもエコクラブ」(H21年度実績：約3,700クラブ、約18万人が登録、全国709自治体に事務局設置)と「家庭」を対象とした「我が家の環境大臣」事業(約14万世帯がエコファミリーに登録)をベースに、大学生や社会人、シルバー世代までが生涯を通じて継続的に参加できる「みんなエコクラブ」として統合・再編する。

具体的には、下記の各ライフステージに対応したクラブを設定し、情報提供・交換、活動の場や機会を準備するとともに、各ライフステージ(クラブ)への移行や相互連携を支援するワンストップのプラットフォームを「みんなエコクラブ」として構築する。「みんなエコクラブ」では、各クラブの特性に応じて定期的に環境大臣等からのメッセージや環境情報を発信する。

こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」事業を再編し効率化を図る。環境への原体験を育むため、幼児・小中学生を対象として様々な環境活動のグループを登録し、子ども向けの環境情報提供、クラブ間の交流等を実施。進路の参考としてコースや社会人エコクラブの情報もわかりやすく提供。

ファミリーエコクラブ

「我が家の環境大臣」事業を再編し、自治体と連携しつつ効率化、強化を図る。登録者をファミリーエコクラブに移行し、各クラブとの有機的連携や企業等の団体登録の推進を図り、各クラブや社員教育を通じて、単身世帯も含め環境家計簿や家庭のエコ活動をより一層推進する。

コースエコクラブ

高校生・大学生を対象に、こどもエコクラブの卒業生などの個人や環境活動を実践している生徒会、クラブ活動・サークル活動等の団体を登録。

環境情報や知識の提供に加え、大学の環境関連コースや社会人として活躍する環境人材等の情報提供、団体間の交流等を「社会人エコクラブ」等と連携して実施。

社会人エコクラブ

企業やNGO、自治体等で働く人を対象として登録。社会人向けの環境研修や

各種資格、各団体の取組等、所属組織内における環境リーダー育成につながるような情報等をワンストップで提供するとともに、多様な登録者相互間の情報交換を図る。

また、小規模事業所の経営者などを対象に、地域に根ざした町工場や商店街等の取組事例の発信、従業員を対象にしたセミナーや交流会など情報提供・交換の場や機会を提供。

シルバーエコクラブ

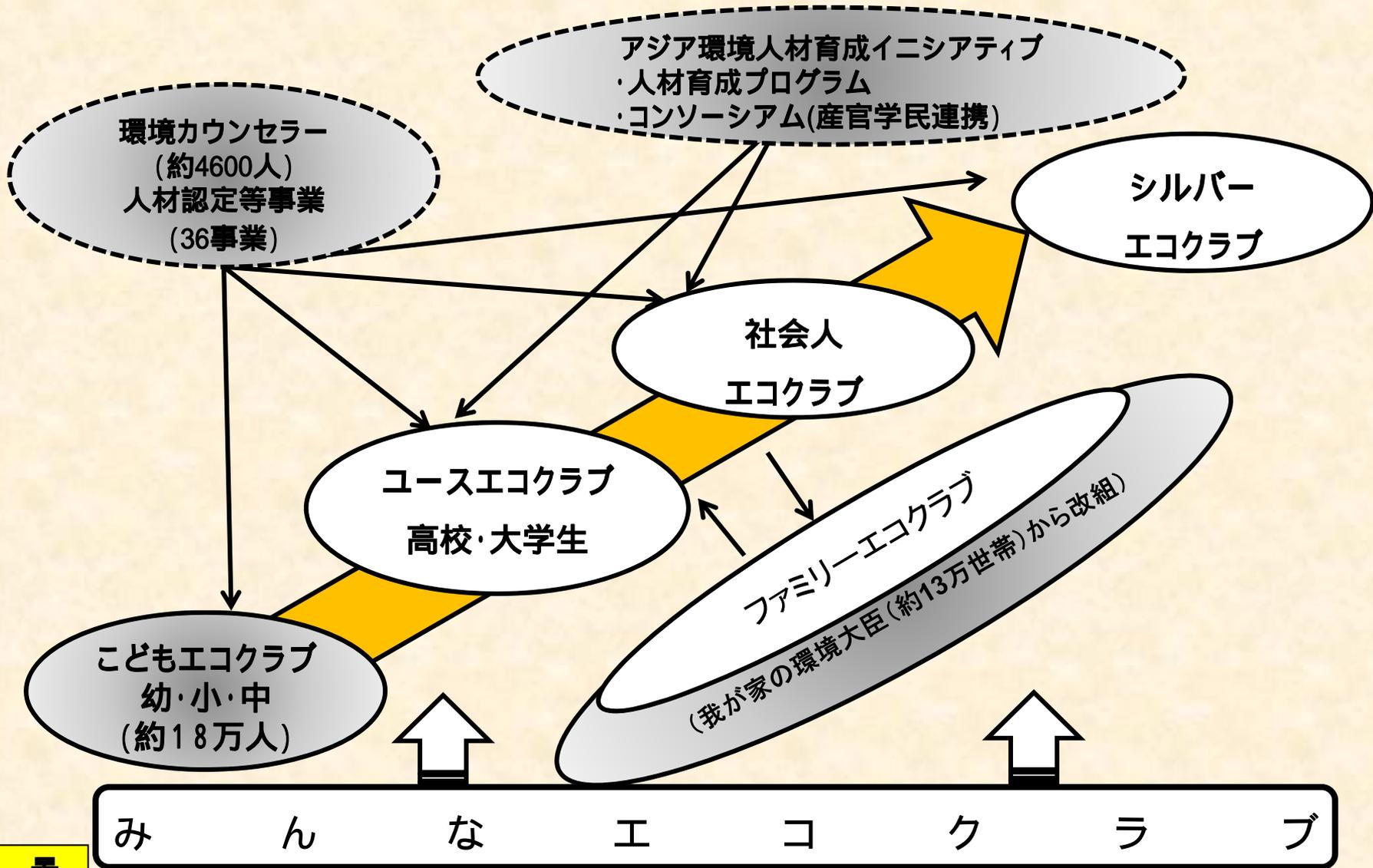
全国の自治体と連携・協力し、地域において様々な活動をしている団体や個人の集まり等を登録。

地域に根ざした地道な環境活動等を継続的に積み重ねてきた取組を広く公表・顕彰し、これまで培った経験・能力を生かし、地域コミュニティ等において活躍することができる機会や場を提供するとともに、各クラブ間の取組の情報交換を行い、環境活動の活性化を図る。また、国からの環境情報の提供や環境大臣のメッセージ等を伝えることで、あわせて、地球環境問題への取組を促進する。

3．施策の効果

すべての世代が活動型の環境教育に参加することができる仕組みを構築し、家庭、学校、地域、企業等のあらゆる場において、生涯にわたる質の高い環境教育・学習、体験の機会を途切れなく継続的に提供し、持続可能な社会の実現に資する。

みんなエコクラブ推進事業



背景

温暖化対策(25%削減目標)や生物多様性(COP10後の日本の責務)等を、国民が生涯を通じて生活する様々な場面で、継続的に環境に配慮した行動がとれるように子ども、家庭、地域、企業等での環境教育が推進されるように支援することを目的に新たに「みんなエコクラブ」を創設し、環境問題について考え、具体的に行動することができる人材を全国で育成する。